

【情報公開文書】

京都大学医学部附属病院医療情報企画部では、安心安全な医療を保ち続けることを目指し、カメラ映像中に移り込む人物の動作分析を通して医療安全や医学教育への貢献に結びつくような研究を行っています。以下にその概要を記載しますのでご理解のほどお願い申し上げます。

1. 研究の名称
動作推定技術を利用した手術室監視映像中の医療者行動の理解
2. 倫理審査について
京都大学大学院医学研究科・医学部及び医学部附属病院 医の倫理委員会の審査を受け、研究機関の長の許可を受けて実施しています。
3. 研究機関・研究責任者
京都大学・山本豪志朗
4. 研究の目的・意義
手術室全体を捉えた映像には、手術の進行として医療器具等の受け渡しや術野の状況に合わせた看護師の動きなど、医療者のチームワークや手術そのものの進行度が写り込んでいます。本研究では、映像データから人物の体の動きを抽出し、それらの状況を推測するシステムを構築することを目的としています。本システムを導入することで、より安心安全な手術の実現に寄与すると考えています。
5. 研究実施期間
(研究機関の長の実施許可日から) 4年間
6. 対象となる試料・情報の取得期間
京都大学医学部附属病院の手術室にて手術を行った患者およびその手術関係者が写り込んでいる映像を使用します。対象となる手術映像は 2021年6月1日から2025年3月31日の間(研究機関の長の実施許可日6ヶ月前から約4年間)とします。また、該当する手術に紐づく電子カルテおよび麻酔記録情報から手術情報を抽出して使用します。
7. 試料・情報の利用目的・利用方法
手術室監視映像は、コンピュータビジョン技術を適用することで映り込む人物の関節点を抽出し、その人物の動作を推測するために利用します。また、映像中の状況を理解するために、電子カルテや麻酔記録から得られる当該手術の情報を利用します。
8. 利用または提供する試料・情報の項目
研究で使用するのは映像データに加えて、術式名や器材名、また手術の進行記録情報としています。
9. 試料・情報の管理について責任を有する者
京都大学医学部附属病院医療情報企画部
准教授 山本豪志朗(研究責任者)
10. 研究対象者またはその代理人の求めに応じて、研究対象者が識別される試料・情報の利用または他の研究機関への提供を停止すること及びその方法
ご自身の試料・情報を研究に利用されたくない方は、連絡先までその旨お知らせいただければ、解析対象から削除します。
11. 他の研究対象者等の個人情報および知的財産の保護等に支障がない範囲内での研究に関する資料の入手・閲覧する方法
連絡先に問い合わせいただくことで、必要に応じて本研究の研究計画書および研究方法に関する資料を提供いたします。
12. 研究資金・利益相反 <情報公開文書項目番号()>
 - 1) 研究資金の種類および提供者
科学研究費, 日本学術振興会

- 2) 提供者と研究者との関係
研究資金の提供のみで、研究実施に対する介入はない。
 - 3) 利益相反
利益相反について、「京都大学利益相反ポリシー」「京都大学利益相反マネジメント規程」に従い、「京都大学臨床研究利益相反審査委員会」において適切に審査している。
13. 研究対象者およびその関係者からの求めや相談等への対応方法
- 1) 研究課題ごとの相談窓口
京都大学医学部附属病院医療情報企画部
研究責任者 山本豪志朗
(Tel) 075-366-7702
 - 2) 京都大学の相談等窓口
京都大学医学部附属病院 臨床研究相談窓口
(Tel) 075-751-4748 (E-mail) ctsodan@kuhp.kyoto-u.ac.jp